

湯河原校舎 高等部説明会



○湯河原校舎の概要について

- 設置目的、設置場所、アクセス
- 基本理念や方針
- 校舎の整備内容 等

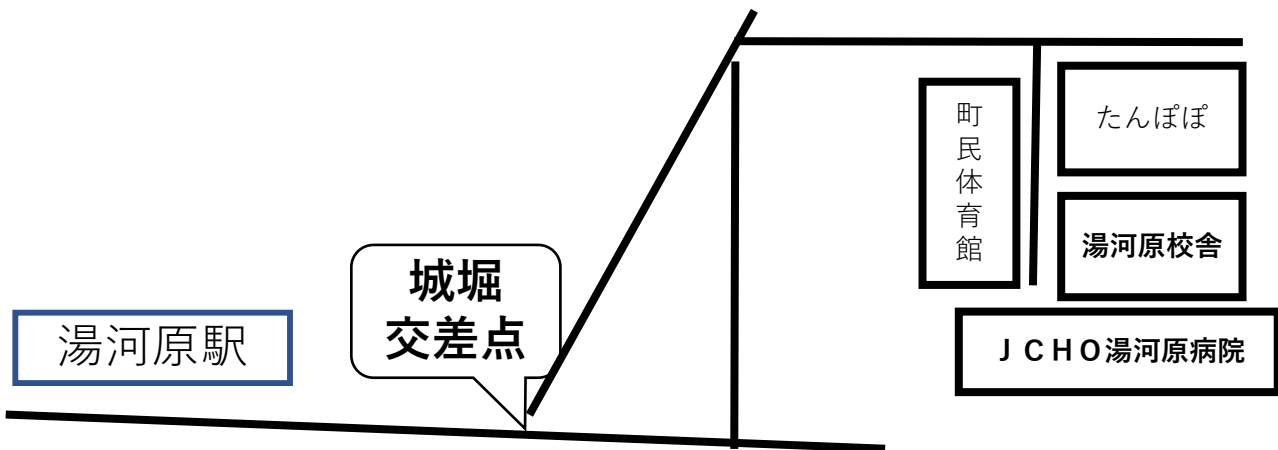
○学校生活について

- 主に高等部の教育課程
(日課、学習内容、行事等)

西湘地域の特別支援学校の地域的課題（湯河原・真鶴地域に在住する児童・生徒の通学負担）に対応するため、旧湯河原中学校跡地の一部に小田原支援学校湯河原校舎が整備されました。

〒259-0301

神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-3



★海も山もあって
自然豊かな
環境にあります。

- ・町民体育館
- ・防災コミュニティセンター
- ・JCHO湯河原病院
(旧湯河原厚生年金病院)
- ・地域作業所たんぽぽ
が隣接しています。

〈学校案内図〉
公共交通機関利用
OJR湯河原駅より
・徒歩17分
・箱根登山バス3分
「中央2丁目」下車
徒歩2分

【開設】

令和3年9月1日（水）

【設置部門】

知的障害教育部門（A）

肢体不自由教育部門（B）

【設置学部】

小学部、中学部、高等部

【児童生徒数】

22名（うち高等部は15名・1年生2名
2年生5名、3年生8名）

*高等部の募集人数は11月頃に確定します。

給食の提供

真鶴コース
 湯河原コース
 2台が走行しています。
 行事等での
 中間利用もあります。

スクールバスの運行





基本理念1

一人ひとりが輝く学びの場

**豊かな学びと地域に根ざした
安心できる生活の実現を目指す**

合言葉は

「つなぐ」

「つながる」

「つながいあう」

「人をつなぐ」

「地域でつながる」

「みんながつながい

あう」



湯河原校舎の基本方針

『一人ひとりの**教育的ニーズ**に応じた**学びの実現**』

地域の特色を生かす

地域の子どもたちと学びの時間の共有

本校の児童生徒との交流

おおらかで夢のある学びの実現

『地域とのつながりを大切にする』

子どもたち自身が認められる場の設定

人の役に立つ経験を積む

現場実習を通してチャレンジする

自立と社会参加の実現



KANAGAWA

高等部の教育課程

自立と社会参加を目指して

- 子どもたち一人ひとりのライフキャリアを見据えた教育
- 日常的に地域とかかわりながら、地域とともに学ぶ
 - ・ 校外学習
 - ・ ゲストティーチャーからの学び
 - ・ 職業(作業)学習
 - ・ 交流及び共同学習 など
- 福祉事業所や企業での現場実習



高等部の教育課程

<主な行事>

○儀式的行事、体育・学習発表会等

○遠足

○宿泊学習

○修学旅行

○地域との交流活動 等

*行事の内容により、
小田原校舎と共同
実施する予定です。

地域との交流・共同学習

- 湯河原駅ホームベンチへの座布団設置。カバーの洗濯、運搬、納品
- 地域のイベントへの作品展示
- 地域の施設に小物入れを届ける。





高等部の教育課程

<始業時間と終業時間>

| 始業時間 | 学部 (部門) | 終業時間 |
|---------|--------------|-----------|
| 9 : 0 0 | 高等部 (知・肢) | 1 4 : 5 0 |

- ・ 水曜日 1 3 : 3 0 下校の時もあります。



KANAGAWA

高等部の教育課程

<一日の流れ（例）>

| | 時程 | 活動 |
|----|-----------|--|
| AM | 9 : 0 0 | 登校・ホームルーム |
| | | 日常生活の学習（着替え、係活動等） からだづくり（体育） 学習活動 給食指導（準備、配膳、食事、歯磨き等） |
| PM | | 学習活動 日常生活の学習（着替え、帰りの支度等） ホームルーム |
| | 1 4 : 5 0 | 下校 |



高等部の教育課程 (知的障害教育部門の一例)

<学習の内容>

- 個別課題学習 (国語・数学)
- グループ学習 (理科・社会)
- 日常生活の学習 ○自立活動

(教科等を合わせた指導)

- 作業
- 職業・家庭
- 保健体育
- 音楽
- 美術
- 総合的な探究の時間
- 特別活動



高等部の教育課程（肢体不自由教育部門の一例）

＜学習の内容＞ ※自立活動を主とした指導

- 個別課題学習
- グループ学習
- 日常生活の学習
- 自立活動

（教科等を合わせた指導）

- 理科・社会・家庭
- 保健体育（運動）
- 国語（コミュニケーション）
- 音楽
- 美術（造形）
- 総合的な探究の時間
- 特別活動

ご静聴ありがとうございました。



ゆがわらごうしゃ ゆるキャラ
ユノッシー